

齋藤實展～その人と時代～

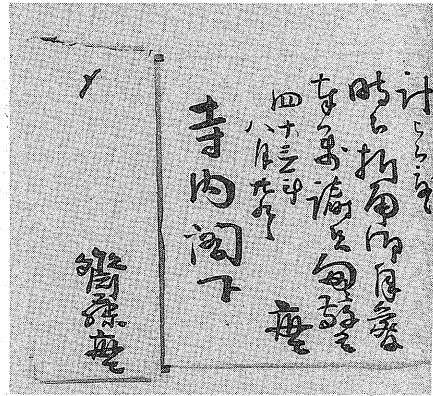
「齋藤實展～その人と時代～」は、2002年10月24日～11月10日の期間、早稲田大学會津八一記念博物館において開催された。当館からは、憲政資料室所蔵の「齋藤實関係文書」等より、計70点余りに及ぶ資料を出展することにより、当展示会へ協力した。

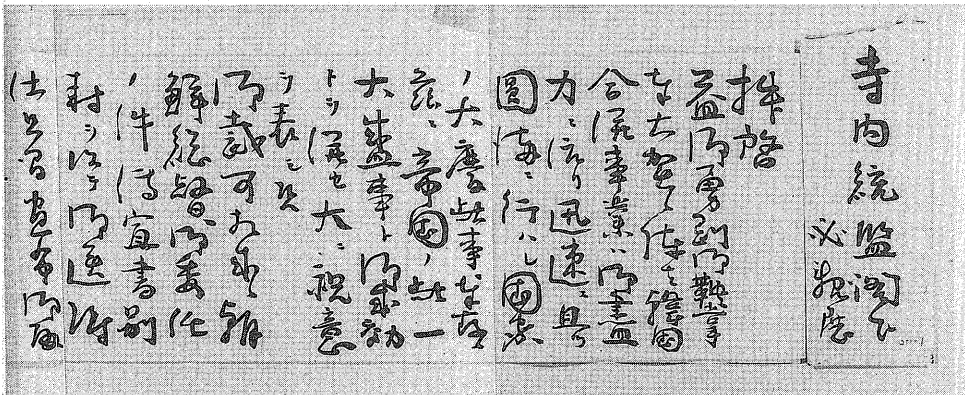
齋藤實は、1858（安政5）年、現在の岩手県水沢市に生まれ、1936（昭和11）年、2.26事件で暗殺された海軍軍人・政治家である。齋藤は、1906（明治39）年から1914（大正3）年にかけて海軍大臣を務め、その後1919（大正8）年には、朝鮮総督に就任。1931（昭和6）年に朝鮮総督を辞した後、翌年の5.15事件で倒れた犬養内閣の後継として、1934（昭和9）年まで首相を務めた。1935（昭和10）年に天皇の側近である内大臣となり、翌年の2.26事件に遭遇した。

以上の経歴から明らかなように、齋藤は明治、大正、昭和の政治史において、重要な役割を担った人物である。そのため齋藤が生前、整理・保管していた、膨大な量の執務書類、書翰、日記、図書・雑誌、写真等は、近代日本政治史研究にとって第一級の資料となっている。これらの資料は、齋藤の死後、水沢の齋藤家の書庫（現齋藤實記念館）や東京四谷の旧宅などに分散されて保管されていたが、そのうち書類、書翰、日記等の文書資料約1万点については、1964（昭和39）年に齋藤家よ

り、国立国会図書館に寄贈された。資料整理の後、1967（昭和42）年に仮目録が刊行され、憲政資料室において「齋藤實関係文書」として公開された。その後、齋藤文書のもつ資料的価値や利用の増大等に鑑み、より詳細な資料の分類、再整理をすすめ、『齋藤実関係文書目録 書類の部1』を1993（平成5）年に、同2を1995（平成7）年にそれぞれ刊行した。一方、早稲田大学との共同事業として1993年から、書翰について1通ずつ、発信者の確定、発信年月日の推定、内容の摘記をする等の再整理を行い、『齋藤実関係文書目録 書翰の部1』を1998（平成10）年に、同2を1999（平成11）年に刊行するとともに、文書全体のマイクロフィルム化を行った。さらに早稲田大学では、水沢市の齋藤実記念館が所蔵している資料についても、マイクロフィルム化を進めた。

今回の展示会は、以上のような齋藤實に関する文書の再整理・調査の完結を記念するものでもあり、憲政資料室および齋藤実記念館所蔵資料の中から、書類、書翰、掛軸、図書・雑誌、写真





齋藤實書翰 寺内正毅（韓国統監）宛 1910（明治43）年8月29日
 （憲政資料室所蔵「寺内正毅関係文書」258-1）

等、総計200点余りが出展された。展示会は、第1部「海軍軍人としての齋藤実」、第2部「齋藤實朝鮮総督と「文化政治」」、第3部「ファシズムの台頭と齋藤内閣」、第4部「齋藤實の交友・家族」の4部構成となっており、特に本展示会の中核をなす第2部は、それ以前の「武断政治」に対して「文化政治」と称された、齋藤総督期の日本の朝鮮統治をあとづける資料をもって構成された。具体的には、朝鮮統治政策に関する意見書、日本の各界や親日派朝鮮人から齋藤に宛てた書翰、総督の各地視察時の写真や朝鮮独立運動に関する調査報告書類などである。また、当時の朝鮮で発行された雑誌や、朝鮮総督府が刊行した教科書等の興味深い資料も出展された。これらの刊行物は、齋藤實記念館に総計3万点以上が所蔵されているが、現在日本ではここにし残されていないと思われるものも多く、当時の朝鮮における文化・教育政策の実態を解明するのに、欠くことのできない貴重な資料群である。

一方、展示会の開会に合わせて、10月25日には、早稲田大学国際会議場

深大記念ホールに於いて、記念講演会・国際シンポジウムが開催された。映画評論家の佐藤忠男氏による「日本の韓国統治と映画」という記念講演に引き続き、韓国、オランダ、日本の各研究者による国際シンポジウム「植民地朝鮮統治の諸相」が行なわれた。まず尹海東ソウル大学講師から、3.1運動と「文化政治」の連関についての問題提起があり、続いてKoen De Ceusterライデン大学助教授より、日本統治下の啓蒙活動家 Yun Ch'ihō（尹致昊）の評価をめぐる論考が発表された。さらに松田利彦国際日本文化研究センター助教授からは、「文化政治」に至る過程とその展開、および「文化政治」が抱えた問題等の指摘がなされ、引き続き参加者間での討論、質疑応答に移った。

今回の催しは、単に齋藤實個人の足跡を追うにとどまらず、日本の近代化の過程において軍が果たした役割や、対外侵略がもたらした意味をあらためて検証するよき機会であり、日本と韓国・朝鮮との相互理解を深める契機となるものでもあった。

（政治史料課 堀内 寛雄）